

第一回市政懇談会

# 無の財政を有へ

## 船たまりの完成を

### 久枝地区の人たちに聞く

市民の生の声を聞く、はじめての市政懇談会は、空港の拡張、漁港などの問題をかかえた久枝で三月三十一日による開らきました。当日はあいにく市長に急用がで

き、かわって国沢産業経済課長、また、地元出身の西内県議、北村市議や地元民十数人の出席のもと話し合いをすすめました。はじめに西内県議の県政における久枝周辺のことからについて

「このほど飛行場周辺の国有地一万五千坪の払下げが行なわれることに決り、飛行場の拡張は四十一年度で一億二千万円の工事費で行なわれる。

飛行場周辺には多くの道、水路とそれにもなう橋りょうなどの整備については実地調査の上検討されよう。

赤岡・春野線のは装は遅れているが、前浜・久枝間一、六きが七百坪で解は装され、下の橋は四十三年度から永久橋に架け替えられる見通しである。前浜・立田線は二千万円が

つけたので、県・市の負担により四十一年度から完全には装になる。

### 市民の声を市政に

各地で市政懇談会

かくれた市民の願いを行政へ反映するとともに、市政への理解を深めていただくために各地区に出向いて、その地区の人たちと市長をはじめ市の執行部とがひざをつき合わせて話し合う、市政懇談会をこれから開らくことにしました。

なおこの「市政懇談会」につき希望される地区がありましたら、広報までお申し出てください。

バス道路は介良から里改田線まで明年度に着手される、せめて専用道路まではと働きかけているが無理だろう。

都市計画はバスより早くやるべきだ。」

つづいて国沢産業課長から、市の財政事情など「市の財政は三十六年から四十七一年まで、再建団体として一億

三千万円の赤字償還を行なってきた。しかし、表面的には解消されているようだが、未払いの負担金など潜在した赤字が累積し、現在七千万から八千万円の赤字が別に生じている。」

四十一年度の見込み予算での財政不足は八千万円あり、そのため四、五月は暫定予算で執行される。四十一年、四十二年が

最悪な情勢におかれています。市長は教育に力を入れてゆく方針であり、道路行政もかなり行なわれるだろう。確行政には多少しわ寄せがくるだろう。しかしひもつきで行なわれるものや、構造改善、土地改良事業は実施できよう。」

とそれぞれの立場から説明されました。

それに対して地元の人たちからつぎのような質疑がなされ、国沢課長、西内県議から回答がなされました。非市長の重点施策はなにか、課長 十二日の定例議会で施政方

針を市が定むるので、それにより知してほしい。

「議会は道路行政へはより、その他の事業は二、三年後にしたいというのだが、議会の意見を尊重するのか、課長 議会の意見を尊重するとかしないとかいうことでなく、財政事情からおして一時的に、しかも多方面にわたっての事業は

無理だらう。南部小と前浜小の統合はいつか

課長 小・中学校の統合は、まず北部中学校がことしから行なわれるので、明年度以降になるのではなからうか。

「助役の選任はいつか、課長 今議案中に市長から提案され、選任されることになろう。」

「飛行場周辺の開発をどのようにするのか、課長 市長でないといえない、関係課長として研究したい。」

県議 空港は貧弱だ、地元よきを売る売店を市の農協で、植物園、ハウス園芸やバナナ、パイナップルなどの栽培と即売など、南園ムードいっぱい事業を地元の市として考えてゆくべきだ。

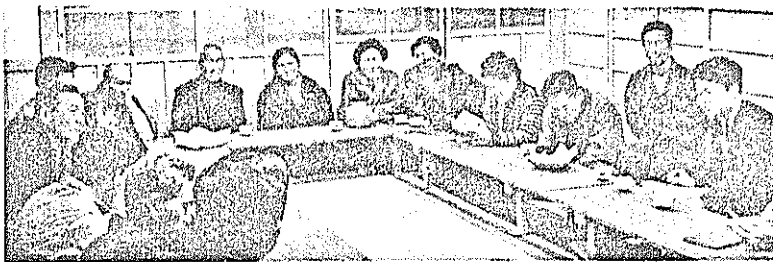
「飛行場の番人が少なく、交通に支障をきたしている、増員の働きかけをしてほしい。」

県議 現在三人雇っているが、それでは交通に支障をきたすのは当然だ。増員するように努力したい。

「生活保護の不正受給をなくしてほしい。」

課長 生活保護では受給者に届出の義務を課せられているが、収

(次の頁へ)



飛行場周辺の整備をと久枝の人びと